

来週の『売り物』記事はこれ



2015年5月29日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

料理研究家 辰巳芳子

「いのちのスープ」に込めた無償の愛

5月31日(日)



90歳になる料理研究家の辰巳芳子さん。神奈川県鎌倉市の自宅で開く講習会「スープの会」は1996年に始まりました。一通り覚えるには3年間通い続けることとされていますが、受講希望者は全国から殺到し、10年待ちの人も珍しくありません。その場で、辰巳さんは料理の神髄を伝えます。「私はスープの作り方を教えているのではありません。愛する人のために、どのように真心を込められるのか」。終末期を迎えた患者が、辰巳さんのレシピ通りに作られたスープを一口飲み、笑顔を見ることがあります。小さな奇跡を起こすスープは、いつしか「いのちのスープ」と呼ばれるようになりました。一切の妥協を許さない辰巳さんの食に懸ける思いに迫ります。



日曜朝は『S』で始まるー。ストーリーにご期待下さい。

ピース又吉さんの純文学小説が異例の大ヒット

「又吉現象」の秘密を探る

夕刊2面特集ワイド 6月1日(月)



お笑いコンビ「ピース」の又吉直樹さんが書いた小説「火花」が、純文学としては異例の39万部も売れ、大きな話題になっています。先日発表された三島由紀夫賞は惜しくも逃したものの、「芥川賞を取ってもおかしくない」との評価もあるほどです。読者からは「ずっと探してきた言葉に出会えた気がした」との声が上がり、文学に縁のなかった若者にも支持が広がっています。なぜ、ここまで人気を集めるのでしょうか。「又吉現象」の秘密を探りました。

サッカー女子W杯企画 「なでしこ 注目の選手たち」

6月2日(火) 朝刊から4回

サッカーの女子ワールドカップ(W杯)カナダ大会がよいよ6月7日(日本時間)に開幕します。日本代表の初戦は9日午前11時(同)キックオフのスイス戦です。ニュージーランド、イタリアとの親善試合に連勝し、大会連覇に向けて上々の仕上がりをみせる「なでしこジャパン」。精度の高いキックが魅力のキャプテン・MF宮間あや選手、なでしこの絶対的エース・FW大儀見優季選手、正確なフィードが持ち味のGK福元美穂選手、昨季のなでしこリーグ得点王・菅沢優衣香選手。勝敗のカギを握る4人の選手を紹介します。



「Tokiko's Kiss」

おんナのしんぶん  6月1日（月）

月に1回掲載の加藤登紀子さんの対談コーナー。今回のゲストは、俳優で映画監督の伊勢谷友介さんです。東京芸大在学中に映画デビューし、その後の作品では自らもメガホンを取るなど活躍中の伊勢谷さん。最近では、仲間の芸術家たちとともに「リバープロジェクト」を設立し、社会的活動にも携わっています。伊勢谷さんの活動の原点や思い描く理想の社会について、語り合いました。

加藤さんが自身の歌とその時代を振り返る連載「登紀子 いく時代の物語」は、「1960年 MONSOON」です。この年の6月、安保改定に反対した学生らのデモ隊が国会に突入。その際に、女子東大生が亡くなりました。このデモには当時高校生だった加藤さんも参加していたそうです。加藤さんとの関係は紙面で！



スープのもと手作りで

くらしナビ面 6月2日（火）



インスタントみそ汁やカップスープが数多く出回っていますが、野菜たっぷりの即席スープを自分で簡単に作ることができます。「トマトとニンジン」「キャベツのポタージュ」「みそ」をベースにしたスープのもとを作り、お湯を注ぐだけ。一度に5、6回分まとめて作り、具材を好みで変えれば、バラエティにとんだスープを楽しむことができます。

地域猫活動で管理して猫被害減少

くらしナビ面 6月5日（金）

飼い主のいない猫（野良猫）が増えすぎると、大きな鳴き声やふん尿被害といった地域トラブルを招くことがあります。トラブルを解決する取り組みに「地域猫活動」というものがあります。不妊手術を施し、元いた場所に戻した後は地域ぐるみで適正に管理し、一代限りの命を見守ります。活動には、ボランティアと地域住民、行政の三者の協力が欠かせません。



名作の現場

谷崎潤一郎「痴人の愛」

文化面 6月6日（土）



文学作品の舞台をルポする「名作の現場」は、作家の島田雅彦さんが谷崎潤一郎の「痴人の愛」を取り上げます。実直な勤め人の讓治が少女ナオミを引き取って育て、やがてその妖艶な魅力に取りつかれ墮落していく様を描いた小説。終盤の舞台となった横浜を歩き、同作が書かれた関東大震災後の世相を東日本大震災後の現在に引き付けて考えます。